

## N02a 「あすか」で見た銀河中心近傍の3つの明るいX線星

坂野 正明、西内 満美子、前田 良知、小山 勝二 (京大物理)

「あすか」で観測した銀河中心近傍の3つの明るいX線星 (A1742-294、1E1740.7-2942、1E1743.1-2843) についての結果をまとめる。

A1742-294 からは、5回のバーストを検出した。バーストの decay 時には、スペクトルの軟化が見られ、Type-I バーストであることが分かった。その強度は、このX線源が銀河中心近傍にあるとすると、太陽質量の中性子星の Eddington 限界には達していなかった。

1E1740.7-2942 (the Great Annihilator) は、ハードでフラットなスペクトルを示した。我々は特に、中性鉄輝線の強度の弱さからこのX線源近傍には大きな吸収がないことを明らかにした。過去の観測からは、このX線源は分子雲の中にあって分子雲から直接 accrete されている特異なX線源であるという説があったが、我々の結果はその説の否定を示唆するものである。

1E1743.1-2843 は、3つのX線源の中で最も吸収が大きい、他に目立った特徴は見られなかった。このX線源の正体は何か、過去の衛星の結果も併せて議論する。

本講演では、以上の3つのX線源についての個々の議論に加え、特に吸収量というプローブでもって、統一的な議論も行なう。